

大学院特別講義

海外で研究する ということ

— Stanfordでの日々、
臨床の疑問を研究と実装で返す —

本学の大学院生・学生・若手医師の視野を海外へと広げるきっかけをつくることを目的とする。国内に閉じがちになりやすい進路選択やキャリア形成について、実際に海外の第一線で研究・臨床に取り組む研究者の生の声に触れる機会を設けることで、海外という選択肢をより身近なものとして捉え、自らのキャリアを考える視野を広げてもらいたいと考えている。



2026
10.09 金

17:30-19:00
開場 17:00

中内祐介 先生

Stanford University School of Medicine, Research Scientist
スタンフォード大学幹細胞生物学・再生医学研究所

会場 京都府立文化芸術会館 第一部：会議室(会館2階)／第二部：館内 前田珈琲[無料]
(本学正門前の信号渡ってすぐ)

PROGRAM 総合ファシリテーター：飯野直子 学長補佐・特任教授

17:30-17:35 学長挨拶 夜久均 学長

Opening remarks

飯野直子 学長補佐・特任教授

17:40-18:15 ゲスト講義(中内祐介 先生)

第一部

座長：国際学術交流センター 井上匡美 教授

中内先生ご自身の研究のことを交えながら、Stanfordでの日々や日頃感じていることを若手向けにカジュアルに講義＋質疑応答。

18:20-19:00 パネルディスカッション

第二部

モデレーター：小児科学 柳生茂希 講師

留学経験者4名を交え、留学のリアルな体験談やキャリアについてディスカッションを行う。

PROFILE

中内祐介 先生

<https://profiles.stanford.edu/yusuke-nakauchi?tab=bio>

旭川医科大学医学部卒業、東京大学大学院医学系研究科修了(医学博士)。血液内科医としての診療経験を経て、2014年よりStanford大学医学部 Majeti Labにて研究に従事。急性骨髄性白血病(AML)および前白血病状態における造血幹・前駆細胞と白血病幹細胞の病態解明、ならびに治療標的・予防法の探索を進めている。さらに、同種造血幹細胞移植後の重篤な合併症である移植片対宿主病(GVHD)に対する新規抗体の開発や、造血幹細胞を基盤とした細胞・遺伝子治療研究にも取り組む。アカデミアと産業界を結ぶ橋渡しプログラムであるSPARK at Stanfordでは研究代表者を務め、研究成果の社会実装と治療応用を目指している。日本人医療従事者のコミュニティ、Stanford Medicine Japanese Association (SMJA)の主催者としても活動し、日米の研究・医療をつなぐ交流と協働を推進している。

大学院生・学部学生・臨床医を中心とした
学内関係者・府内医療関係者対象 (定員：40～50名)

申し込みはこちらから

<https://forms.gle/hXwoNpKJcfcYpgeS8>

※定員になり次第締め切ることがあります。



海外で研究すること — Stanfordでの日々、臨床の疑問を研究と実装で返す —

第二部 パネルディスカッション

モデレーター & パネリスト紹介

留学を迷っていた過去の自分に一言

MODERATOR

留学は、医師としても、人としても、
家族にとっても人生を変える。
飛び込んでみて初めて見える景色と、
かけがえのない出会いがある。

柳生茂希 先生

小児科学 講師

2000年 京都府立医科大学医学部卒業

2009年 同大学院修了

2013年 ベイラー医科大学へ留学

現：小児科学 講師



PANELIST

海外で学ぶことは人生観を大きく変える。
迷わずチャレンジせよ！

松山匡 先生

救急医療学 教授

2009年 京都府立医科大学医学部卒業

2014年 同大学院入学・トロント小児病院へ留学

2018年 同大学院修了

2023年 セントマイケルズ病院(トロント)へ
留学(共同研究のため3ヶ月滞在)

2024年 トロントメトロポリタン大学へ留学
(共同研究のため3ヶ月滞在)

現：救急医療学 教授



PANELIST

失敗を気にせず、
色々やってみよう。

井上健 先生

消化器内科学 学内講師

2003年 京都府立医科大学医学部卒業

2011年 同大学院修了

2013年 Center for Critical Illness
Research, Lawson Health Research
Institute(カナダ)へ留学

現：消化器内科学 学内講師



PANELIST

年齢とかタイミングを考えるより、
行きたい時に行くべき！

井上裕太 先生

泌尿器科学 学内講師

2009年 京都府立医科大学医学部卒業

2019年 同大学院修了

2024年 南カリフォルニア大学へ留学

現：泌尿器科学 学内講師



PANELIST

万全になることなんてない。
早めに飛び込めば、後は何とかなる。

木谷友哉 先生

循環器内科学 助教

2007年 京都府立医科大学医学部卒業

2015年 同大学院修了

2015年 スタンフォード大学へ留学

現：循環器内科学 助教

